

- 農業的利用、都市的利用等に土地利用の調整を行い、市街化調整区域と市街化区域の線引きを変更
- 区画整理、畑地かんがい施設等の整備を行い、全国有数の露地野菜産地を形成
- 有機農法や独自の出荷基準によるブランド化にも取り組み、高付加価値化を推進

取組前

未整備の農地 非効率な営農

【営農規模】 25ha (10a未満/区画)
【経営体数】 79戸
【作目】 ダイコン、キャベツ、カボチャ

- 小規模で分散した台地畑と排水不良等により荒廃農地となった畑が存在
- 市街化区域にも存在する狭小・不整形な農地により、非効率な営農
- 意欲的な専業農家が多いが、農業用水がなく、品質低下に苦慮
- 本集落を含む地域では農業従事者が減少傾向



整備前

取組内容

土地利用調整

農業的土地利用と都市的土地利用の調整を行い、市街化調整区域と市街化区域の線引きを一部変更

区画整理、畑地かんがい

農村振興総合整備事業 (H11~21)



整備後



青い空、青い海の前に広がるだいこん畑

取組後

全国有数の露地野菜産地を形成

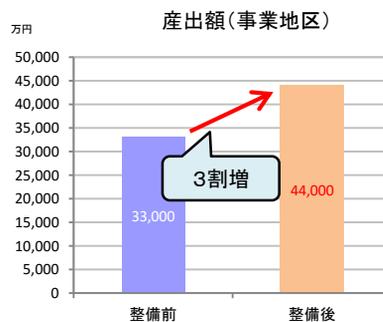
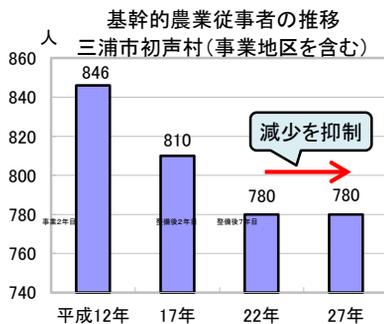
【営農規模】 38ha (40a/区画)
【経営体数】 72戸 (経営規模1ha以上の経営体は約4割)
【作目】 ダイコン、早春キャベツ、春キャベツ、カボチャ、スイカ、トウガン
(秋冬ダイコンの市町村別収穫量は全国1位)

【高付加価値化】

- 農業用水の安定供給により、農作物の品質が向上するとともに、有機農法や独自の出荷基準による地域ブランド化により高付加価値化を推進



三浦だいこん(左)
青首だいこん(右)



【都市農村交流】

- 親子を対象とした農業体験イベント「かながわ農業大発見!!」を毎年実施し、都市住民が参加

